

就任1年で60億円基金ため込んだ臂市政

昨年度末に地方交

付税や地方消費税などの確定で歳入が大幅に増え、都市環境整備基金に8億2千万円積立てる専決処分が行われました。

この基金は3月補正予算でも18億円近く積み立て、合計で29億5千万円になりました。20年度末3億4千万円でしたから1年で26億円増えたこととなります。

市の貯金である財政調整基金もこの1年で14億円新たに増えています。

一般会計基金50億増

その他の16種類の一般会計の基金積立金も合わせると、20年度末が99億円だったのが、21年度末には150億円になる見込みです。

特別会計基金10億増

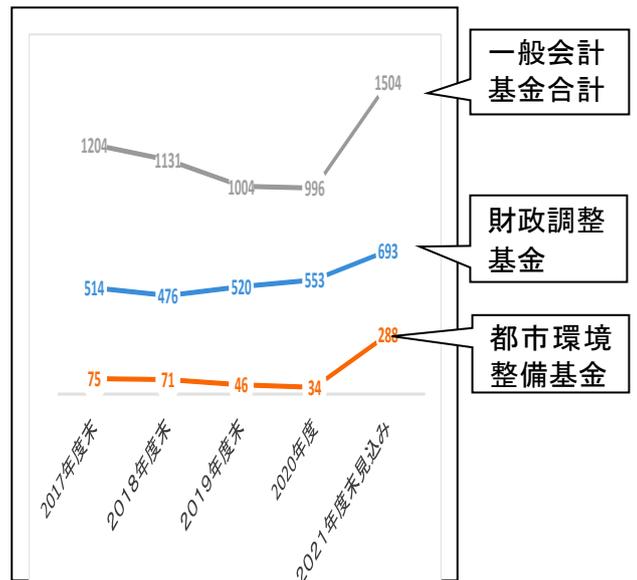
さらにオートレース、国民健康保険、介護保険の3つの特別会計基金も、31億円から41億円に10億円増えています。

臂市長就任後1年間で市の基金が合わせて60億円増えたのです。**市民福祉他市に遅れ**

県内他自治体で学校給食無料化や、高校卒業までの医療費無料化が進んでいます。伊勢崎市はなかなか進みません。それどころか経費削減で公共施設の廃止に熱を上げています。

市政は利益を目的にする企業ではありません。コロナや物価高で市民が困っているときに、内部留保を増やすことばかり考えているのではたまりません。

5年間の基金の推移（千万円）



議会エピソード 26

タクシー券ありがとう

1,700名の署名の成果としてタクシー券の対象が広がりました。交付された人から届いたメールです。

「ついに私もタクシー券をもらうことができました。今年度から制限がなくなり、年寄りの足の確保が一步前進しました。私もその恩恵にあずかり感謝。早速ですが雨の6月6日、バスでは予約の時間に間に合いません。タクシーを利用して病院へ行くことにしました。タクシー代2,600円は月10万円程度の年金者には痛いですが、それがタクシー券3枚と1,400円で済みました。

私はタクシー券を運転手に渡して3枚取ってもらい、その間に足りないお金を用意して支払いました。そういう訳で第一回のタクシー券の利用はスムーズにゆきました。病院で治療が終わって、40分程待つて青空バスで帰ることができました。ただ、バスは本数が少ないし、今回の予約のように時間が早い場合はタクシー利用ということになりそうですが、大助かりです。まずは一回目の報告です。」

新しい議会では地域交通対策調査特別委員会が設置され、市の公共交通の在り方について審議されます。さらなる改善に向けて議会として提言できる活動が期待されます。(K)

無料生活法律相談会

毎月第4月曜日 午後6時より

申し込みは北島、長谷田まで

電話番号は表面に

コロナ対策のため弁護士は当面電話相談となっています